



平成 29 年度 沢地小学校区 第 1 回地域コミュニティ連絡会のまとめ



作成：三島市役所 地域協働・安全課 きずなづくり推進室（TEL：055-983-2708）

6月2日（金）に開催された「平成29年度沢地小学校区第1回地域コミュニティ連絡会」にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。当日の発言や意見をまとめた資料ができましたので、送付いたします。（三島市のホームページにも掲載しています）

■開催概要■

日時	平成 29 年 6 月 2 日（金） 19:00～20:45		
会場	市民体育館		
参加団体 (23名)	富士ビレッジ自治会 沢地町内会 光ヶ丘1丁目町内会 光ヶ丘3丁目町内会 富士見台自治会 交通安全母の会 三島市立光ヶ丘保育園	沢地幼稚園 沢地幼稚園 PTA 沢地小学校 沢地小学校 PTA 北中学校 山田中学校 PTA スクールガード	子ども会連合会 沢地子ども会 交通安全指導員会 三島署管内防犯サポーター 地域安全推進員 北上地区地域包括支援センター 三島市社会福祉協議会

■次第■

開会・市長あいさつ

- 1 「地域コミュニティ連絡会について」
- 2 「地域の情報を共有しよう」
- 3 「計画案で実践できることを考えよう！」
- 4 「アンケート記入」



「地域の情報を共有しよう」のまとめ

今回の「地域の情報共有」では、小学校区の年間スケジュール表や各団体から出された情報を参考にしながら、各団体間の情報を共有しました。

○「小学校区の年間スケジュール表」について

小学校区内で活動する団体の行事や活動等を各団体と共有し、日程調整等のために活用していただくことを目的に、本年度から小学校区内の団体等の予定を合わせた年間スケジュール表を作成しています。

■主な情報交換の内容

団体	情報の概要
北中学校	<ul style="list-style-type: none"> 今年から「北中だより」を配布させてもらっています。目を通してください。 地域で中学生が活躍できることを考えていきたいです。
沢地幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園だよりを発行します。読んでください。 毎月2回幼稚園で遊ぼう会を開催しています。園庭解放も随時受付中です。
沢地幼稚園PTA	<ul style="list-style-type: none"> 毎月第1月曜に廃品回収をやっています。ご協力ください！
光ヶ丘保育園	<ul style="list-style-type: none"> 週1回の園庭解放があります。ぜひ遊びに来てください！ シルバーの人が草刈りのお手伝いしてくれて、助かっています。
沢地町内会	<ul style="list-style-type: none"> 公民館を新築し、公民館の利用促進のため、運営委員会を立ち上げました。 町内会活動の参考に、富士ビレッジの事例を見学させていただきました。
沢地子ども会	<ul style="list-style-type: none"> 子ども会への未入会者が増えています。
富士見台自治会	<ul style="list-style-type: none"> 去年は、犬の散歩時に腕章をつけて子どもたちの見守りも兼ねる取組みを行いました。 今年は夏祭りの子ども神輿を自治会で復活させます。
富士ビレッジ自治会	<ul style="list-style-type: none"> 自治会活動に、多くの趣味をお持ちの住民に活躍してもらっています。 定期的に、介護体験や健康相談のセミナーを開催しています。 夏祭りを全て手作り（三世代）でやっていきたいです。 世代間交流のため、5/5（祝）に「三世代ペタン大会」を開催しました。 遊びながら英語を学ぶ「三世代子育てサロン」を定期的に開催しています。
光ヶ丘町内会	<ul style="list-style-type: none"> 町内に高齢者が増えており、今後も町内会活動を継続できるか不安です。
交通安全母の会	<ul style="list-style-type: none"> 毎年、かけこみ110番の家の更新をしています。
市子ども会連合会	<ul style="list-style-type: none"> 小学生会員以外に中高生、大学生が手伝ってくれています。 子ども会フェスティバルに来てください。
交通安全指導員会	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全指導員を36年間やっている。昔と比べると、交通量がとても増えたのを感じます。 小学生とのあいさつにも心掛けています。
三島署管内防犯サポーター	<ul style="list-style-type: none"> 光ヶ丘幼稚園で不審者対応の訓練を行いました。 全ての幼稚園に刺股を用意してほしいです。
地域包括支援センター	<ul style="list-style-type: none"> 外出することが難しい高齢者の相談を受けることが多いです。何かあればご相談ください。

団体	情報の概要
社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・三島市から受託し、「生活支援コーディネーター」の役割を担っています。 ・地域の困りごとの相談を受付します。 ・“居場所”での世代間交流も支援していきたいです。

■小学校区の年間スケジュール表の追加・修正内容

日にち	団体名	行事・活動等
7/2 (日)	市子連	■中央カップドッジボール大会 ・運営のボランティアにご協力ください！
7/7 (金)	沢地小 PTA	■七夕会 ・歴代の校長や PTA 会長が集結します。
夏休み	市子連	■みしまなびんぐ ・(三島の子どもなら誰でも) 周知にご協力ください！ ・小5～小6が対象
8月	市子連	■アウトリーダー講習会 ・資格を取得できます。
秋	市子連	■親子で絵を描く会 ・子ども会未入会者も参加 OK です。ぜひご参加ください。



■旗揚げアンケートの結果

きずながつくる協働の取組み計画案に掲載されている取組みのうち、昨年度第2回連絡会で投票数の多かった取組みに絞り、話し合いたいテーマとしてふさわしいものを旗揚げアンケート方式で把握しました。

	防災力の高い町内会の事例を共有し、校区全体の防災力を高める。	3
	組織にこだわらず、気軽に(子どもを)見守ってもらえる仕組みをつくる。	12
	サークルやサロンなど、形式にこだわらずに、高齢者の交流機会を設けるための情報交換をする。	7

その後、選択したテーマごとにグループを作り、グループ別に意見交換を行いました。

■グループ別意見交換のまとめ

グループA	組織にこだわらず、気軽に(子どもを)見守ってもらえる仕組みをつくる。
--------------	---

●目的（何のため？）

<顔見知りになる>

- ・地域の子どもが色々な地域の方々の顔、名前を知るため。
- ・地域の方々が我が子だけでなく地域の子を知るため。

<安心・安全（防災・交通安全）>

- ・子ども達の大切な命を守るのは大人の使命だと思う。安心安全に子ども達が健やかに育ってほしいと切に願っています。
- ・地域にとって子どもは宝。
- ・子ども達に安心感を与える。地域の目或いは声かけがあることで子ども達の中につながり感を築く。
- ・子どもが伸び伸び暮らせる環境。
- ・子どもの安全のため
- ・事件事故の未然防止
- ・凶悪な事件から子どもを守るため
- ・事故、犯罪から子ども達を守りたい
- ・身近な犯罪～誘拐殺人に至ることのないよう、子どもの貴重な生命、人生を失わせないよう。

●子どもの見守りの現状・課題

<存在を知っているか？>

- ・子ども達自身が組織の存在を知っているのか？（双方向にすべきでは？）

<交通量の増加・危険な運転>

- ・車追い越し
- ・縦貫道、農免道路、工業団地で交通量が増えた
- ・車の通行の長さに、学校へ行く子ども達が困っている時がある。

<園での不審者対応>

- ・不審者が侵入した際、園の職員だけでは対応が不十分なので、もし侵入者がいた場合園内放送で近隣にも聞こえる様に放送するので協力をお願いしたい。合図は「ひかり先生がきました」なので、ご承知おき頂けると心強いです。訓練をしている時にはフェンスに訓練中の看板を出しています

<規則なしで募集したら50人以上協力>

- ・規則を設けないで町内で募集してもらった結果53名新規会員ができた。（富士見台）
- ・60～70代の方がほしい。女性でもよい。

●どのような見守りが必要？

- ・集団登下校
- ・スクールガード、支援本部に見守って頂いているが、他の人の顔を知らない

<防災につなげる>

- ・防犯だけでなく、災害時の為にも顔見知りになることが大切

<ハード整備>

- ・黄色中央線にする
- ・スクールゾーンの設定
- ・遊歩道を使う

●どんな仕組み？

- ・子どもに知ってもらう
- ・廃品回収、戸別訪問を通して顔見知りになる。
- ・子どもは誰に頼っていいのかわからない
→顔見知りになるべき
- ・1年生は防犯教室をする。
- ・子ども会活動は、子ども達による子ども達の為の活動が望ましい。子ども達の方で子ども会が活発になるような見守り、子ども達へのアドバイス等。



サークルやサロンなど、形式にこだわらずに、
高齢者の交流機会を設けるための情報交換をする。

●目的（何のため？）

- ・1人1人が担い手になることで活躍
- ・生きがいづくり、孤立の防止
- ・中学生の地域での活躍の場とする。地域の人々との交流を図る。（顔見知りになる）
- ・ボケ防止のため
- ・居場所づくり（あそこに行けば誰かに会える）。閉じこもり防止

<話せる機会>

- ・共助の場、井戸端会議
- ・同好会
- ・“回想”
- ・老人会がなく、老人の方が気軽に話を出来る所を作りたい
- ・歩笑みサロン（民生委）
- ・話し合いができる場を作る。コミュニケーションをする

<地域世代の交流>

- ・高齢者の交流の場
- ・交流の継承
- ・次世代へ拡大
- ・防災会

●高齢者の交流の現状は？

- ・具合悪くて外に出られない。どうすればいいか？
- ・既存のグループに入り込む勇気がない。

●どのような交流がよい？

【時間】

—

【対象者】

- ・対象者を制限しない

【場所】

- ・空き家を利用する。
- ・誰かに会えて話ができる場

【内容】

- ・食べ物交換→1コイン
- ・偏ったプログラムにしない
- ・町外からでも来られる。お金を払うが、その分気軽に話ができる（楽しい）

●クリアすべき課題は？

- ・富士ビレッジの例を参考に取り組みたい。
- ・発足経費（謝金、医者、コーディネーターなど）がかかるので、助成金を使う。
- ・人を集めるエネルギーが課題。
- ・一人一人が主役で得意技を引き出す。
- ・皆が困っていることをやっている
→やっているうちに話すようになる

●まずやれることは？

- ・助成金がある
- ・仲間をつくる
- ・地域の方と話す機会を設ける。
- ・住民に得意技を出してもらおう。

